

2019年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験  
2019年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験  
「政策科学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
政策科学専攻	4	2	2
計	4	2	2

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
政策科学専攻	8	8	8
計	8	8	8

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数：12名（文芸4名、スポーツ8名）

受験者数：12名（文芸4名、スポーツ8名）

合格者数：10名（文芸2名、スポーツ8名）

2. 試験内容

3つの質問を出題した。

内閣府（2018）『平成30年度版高齢社会白書』（日本と欧米の高齢化率の推移、日本を含むアジア各国の高齢化率の推移）を資料として提示した。

【質問1】資料の2つの図から「分かること」を挙げてください。

【質問2】高齢化率の増加速度を抑制するため、出生率を向上させることが考えられます。出生率を向上させるため、どのような政策案が考えられるか、「あなたの考え」を説明してください。

【質問3】各自治体では、家庭ごみの収集・処理の有料化の導入を進めつつあるが、あなたはどうかを述べてください。

3. 出題意図

前掲の3つの質問は、本学部での学びに基礎能力として求められる①「資料分析力」、②「論

理的思考力」、③「論理的表現力」を問うものである。

#### 4. 評価ポイント

前掲の①「資料分析力」、②「論理的思考能力」および③「論理的表現力」の3つの基礎能力を総合的に判断・評価する。具体的には、①「資料分析力」について、「配布した図表を正しく読み取れるか」、「その資料の特徴・ポイントを理解できているか」などを、②「論理的思考能力」について、「出生率の向上のための政策案、家庭ごみの収集・処理の有料化の導入に関する自分の考えは何か」、「その考えについて社会通念上適切か合理的か」などを、③「論理的表現力」について、「質問の趣旨を十分に理解できているか」、「自分の考えにおける結論と論拠付けについて論理的に説明できているか」などを、それぞれ確認する。その上で、3つの基礎能力を総合的に評価する。

#### 5. 解答状況

質問1について、全体的には、図表の意味を正しく理解できている。

質問2について、全体的には、自分の考えを論理的に説明できている。

質問3について、全体的には、自分の考えやその理由や論拠を論理的に説明できている。

#### 6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

政策科学部は、社会ないし国際社会で起きている様々な問題を民主、人権、平和、公正、持続的発展などの共有価値の下で政治学、法学、経済学、経営学、財政学、社会学、環境学、歴史文化などの観点から原因や背景等进行分析し政策課題を探り解決案等を考えていく学部である。社会ないし国際社会は何の問題が起きているのか、なぜ問題が起きているのか、どうすれば民主、人権、平和、公正、持続的発展可能な社会ないし国際社会を構築することができるのか、そのような社会ないし国際社会を発展させていくために私たちが何かできるのかを考える力を身につけるように心がけてください。

また、政策科学部は社会、人文科学のみならず自然科学も勉強できる学際的な学部であり、自然科学の視点から物事を考える力をも身につけるように心がけてください。

#### 7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

政策科学部は1994年に設立された。現在国内の政策系学部・学科・専攻は80以上あるが、政策科学部と称するのは立命館大学のみである。政策科学という新しい学問の構築を目指しているからである。

政策科学部が選ばれる主な理由は次のとおりである。

- ① 人文、社会及び自然科学分野の学問を1つの学部で学ぶことのできる学際性に富んだカリキュラムがあること。
- ② 理論のみならず、実践的な学びをも非常に重視しており、それを反映する授業科目を豊富に開講していること。
- ③ 英語基導入試のCRPS専攻も設置し英語で政策科学を学ぶ授業を体系的に開講してお

り、政策科学専攻の学生にも英語の授業を履修でき国際学生とともに学ぶことができること。

- ④ 就職に強いこと。

以 上